

東証第1部 証券コード4323

開催日：2017年12月13日

The JST logo is positioned in the center-left of the slide, overlaid on a decorative background of blue circles of varying sizes that form a circular pattern. The logo itself consists of the letters 'JST' in a bold, blue, sans-serif font.

Finding the right solution, just for you

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

おかげさまで2017年6月23日を
もちまして、東京証券取引所市場
第一部へ上場いたしました。

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

目次

1. 業績ハイライト P-03

2. JASTグループの概要 P-06

3. JASTグループの特長 P-08

4. 2018年3月期 第2四半期の業績分析 P-18

5. 今後の計画・方針 P-30

1. 業績ハイライト

1 - 1. 連結業績

		2016年3月期 2Q累計実績	2017年3月期 2Q累計実績	2018年3月期 2Q累計実績	前年比
売上高	(百万円)	5,558	6,226	6,984	112.2%
売上総利益	(百万円)	1,117 20.1%	1,183 19.0%	1,381 19.8%	116.7%
営業利益	(百万円)	34 0.6%	24 0.4%	93 1.3%	387.5%
経常利益	(百万円)	53 1.0%	37 0.6%	118 1.7%	318.9%
当期純利益	(百万円)	42 0.8%	8 0.1%	60 0.9%	750.0%
一株当たり当期純利益	(円)	8.05	1.61	11.55 0%	717.4%
総資産	(百万円)	9,159	9,471	10,306 148%	108.8%
純資産	(百万円)	5,262	5,294	5,696 82%	107.6%
自己資本比率	(%)	56.9	55.5	54.8	▲0.7
自己資本利益率	(%)	0.8	0.2	1.1	0.9
従業員数	(人)	836	889	931	42

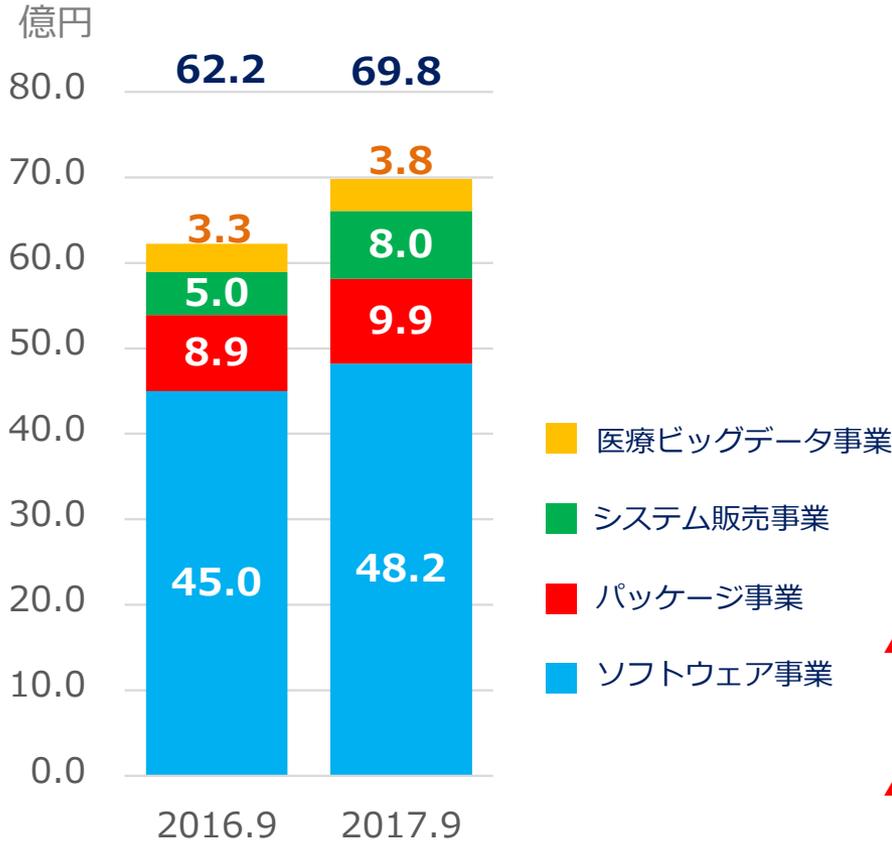
* %数値は各々の利益率及び前年対比を表します。

売上高及び各利益指標において前年同期比で増収増益を達成

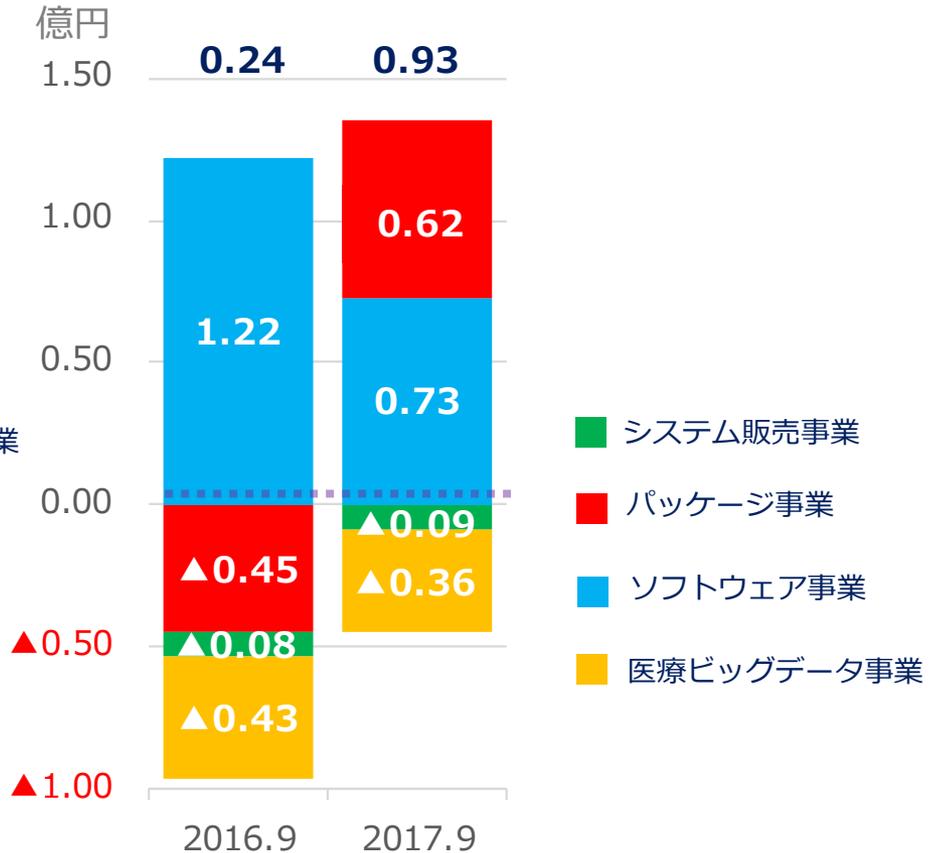
1. 業績ハイライト

1-2. 事業別ダイジェスト

売上高



営業利益



- ◆ソフトウェア事業 : 製造業/通信業/教育機関/サービス・流通業 向け案件の業績好調を受けて増収、一方、外注加工費等のコスト増により減益
- ◆パッケージ事業 : EUC/導入支援/大学向けPP (プログラムプロダクト) 販売の業績好調により増収増益
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件の拡大により増収
- ◆医療ビッグデータ事業 : 自治体向けレセプト管理クラウドサービスの導入増より増収

東京証券取引所市場第一部に上場

- * 2017年6月23日付で東京証券取引所市場第一部銘柄に指定。新たなステージで、更なる企業価値向上を目指す。

パッケージ事業

- * GAKUEN、Universal Passport及びGAKUEN EduTrack（e-learningシステム）が中国国内で本稼働中。今後、更に利用範囲を拡大。
- * GAKUEN新バージョン製品開発中。
- * 大学向けスマートフォンアプリ販売開始（2017年10月）。

医療ビッグデータ事業

- * レセプト点検サービスのクラウド化により、月間処理件数が約1,000万件。
- * 点検サービスに加え、分析・通知サービス、データヘルス計画コンサル等のサービス拡充により、4年間で売上8倍。
- * 東京大学との医療ビッグデータを活用した産学共同研究を開始（2017年5月）。

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

東証1部 略称JAST (ジャスト) 証券コード4323

設立	1973年〔昭和48年〕3月
資本金	10億7,666万円〔2017年3月末現在〕
系列	なし〔完全独立系〕
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー28・29階
	東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階
代表者	代表取締役執行役員 平林 武昭

単位：百万円

2017年3月期の業績	連結	単体
売上高	14,223	12,085
営業利益	571	534
経常利益	623	570
当期純利益	410	385
従業員数（人）	879	663

* 連結子会社8社〔東京・大阪・シンガポール・タイ・中国〕

* 2017年9月末現在の従業員数（連結） 931名

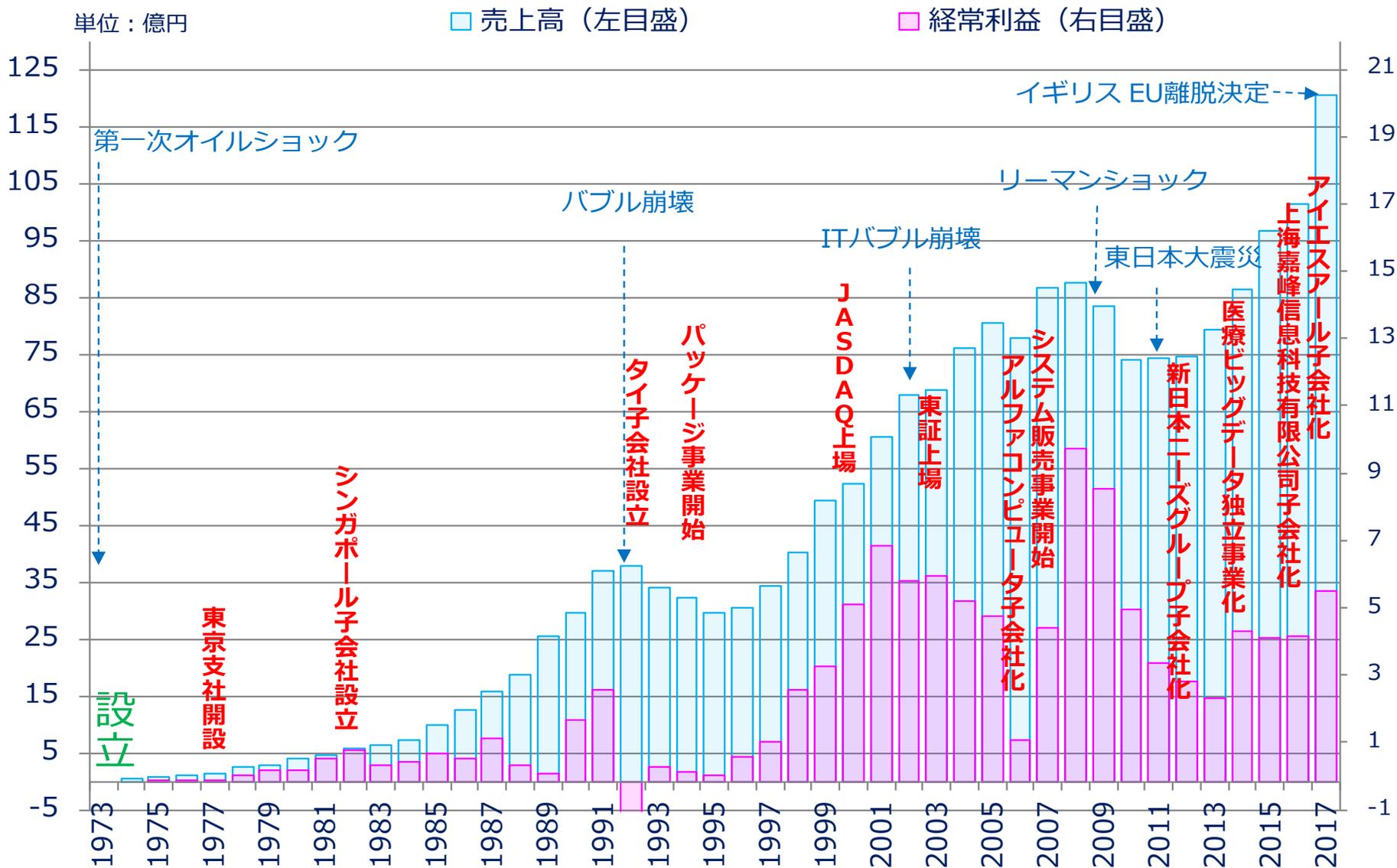
各種資格

- ◆ プライバシーマーク認定
- ◆ ISO9001 登録事業者
- ◆ ISO14001 登録事業者
- ◆ ISO27001 登録事業者

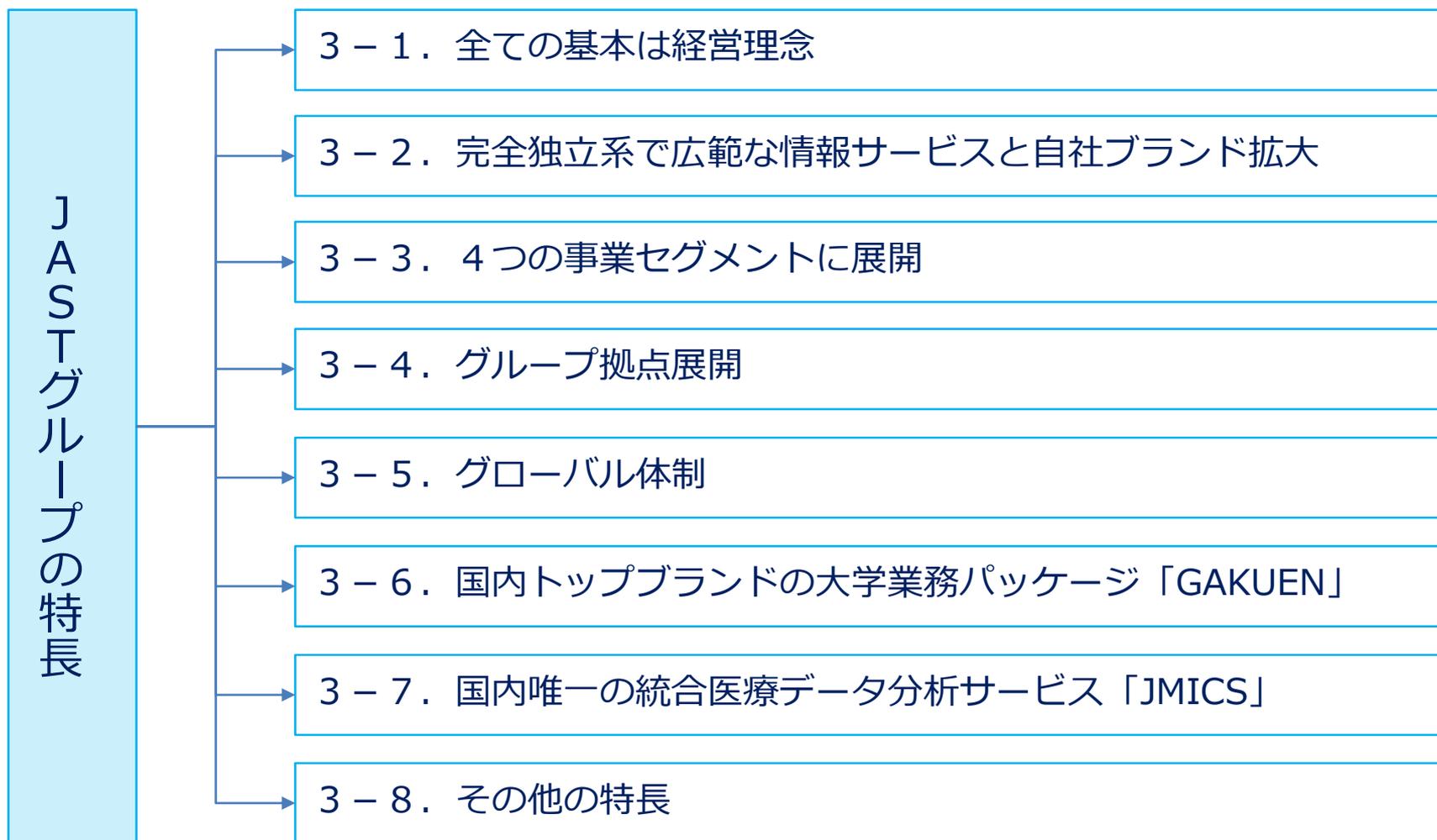


2. JASTグループの概要

2-2. 単体業績の推移



3. JASTグループの特長



「情報化の創造・提供による社会貢献」をモットーとして、いかなる企業系列にも属さない完全独立系の立場を堅持することにより、業種、技術分野、プラットフォーム等を問わず、常に最新の技術に挑戦しつつ、自由な立場で幅広い分野の開発業務に取り組むことを経営の基本方針としております。

この基本方針に則り、お客様、株主、社員、社会がそれぞれwin-win（双方有益）の関係を築くべく、「四方良し」の理念を掲げ、それぞれの価値を最大化し、全体としての企業価値を高めることにより、安定的成長を実現することを目標としております。

また、こうした成長の原動力となるのは従業員ひとりひとりの情報システム開発に対する情熱と顧客への誠心誠意のサービスであり、そのためには人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基づいた「人づくり」経営に徹することとしております。

～ 経営理念の基本的な考え方 ～

天爵を修めて人爵これに従う

「天爵」とは、人として不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めていくことで、尊敬され信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位を意味し、「人爵」とは、業績や経験に基づき団体や上司から人為的・便宜的に与えられた外見上の位階を指しています。

天爵を修めることに努め、結果として自ずと人爵を与えられるのが理に適う順序立てであるのに、人は先に人爵を与えられるとあたかも自分は天爵も得たものと錯覚してしまい、それが態度や行動に出てしまうことが多い。これは本末転倒であるとの考えに基づき、一人ひとりがまず天爵を修めることを究極のテーマとして日々の生活を送ることを奨励しています。

メーカーや系列等一切の制約がなく、自由な立場で広範なサービスをご提供します

Sier
ソフトウェア
事業

ソフトウェアの
受託開発

JAST
ブランド

パッケージメーカー
パッケージ
事業

大学経営ソフトウェア
パッケージ開発・販売

BtoB販社
システム販売
事業

マルチベンダー
ITインフラの構築

医療BI
医療
ビッグデータ
事業

医療情報データの点検
分析及び関連サービス

・ **ビジネスアプリケーション**
各業界向けにシステムの提案から開発、運用、保守まで一貫したITサービス

・ **エンジニアリング**
アプリケーション

携帯電話やAV機器組込みシステム、CAD、構造解析、自動車設計、交通管制など通信・制御システム

大学経営システムのトップブランド「GAKUEN」シリーズを中核とした、文教ITのトータルソリューション

文教・公共系マルチベンダーのITインフラ構築、大型サインエッジ端末関連ソリューションなど、独自のサービス

レセプト自動点検、ジェネリック通知、各種分析サービス、データヘルス計画、二次点検業者向けシステム提供など医療関連のビッグデータソリューション

・ **その他自社ブランドサービス (ソフトウェア事業)**

金融機関向けパッケージソリューション

地銀、信金、信組様向けCRM/SFAシステム「BankNeo」

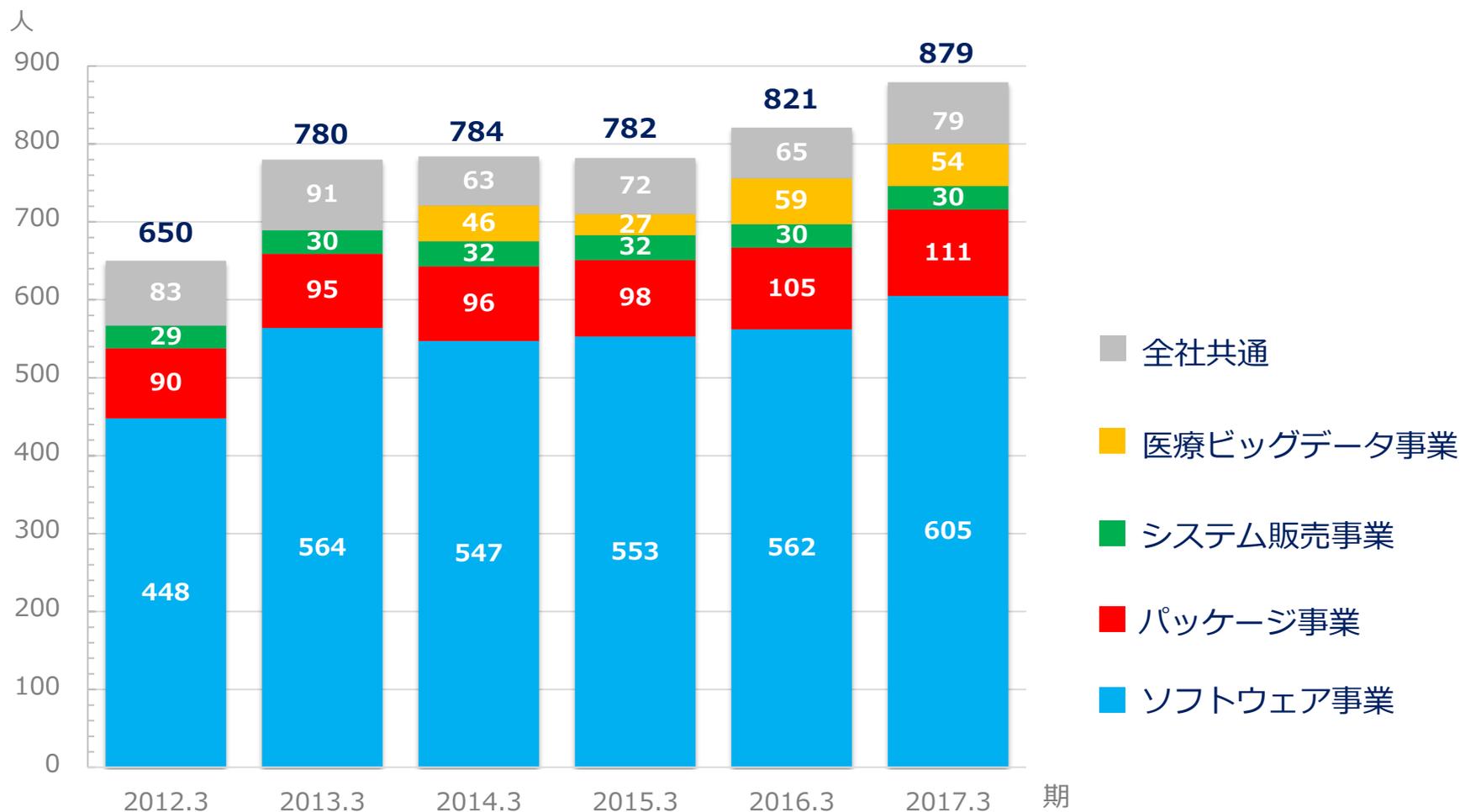
BankNeo

スマートデバイス

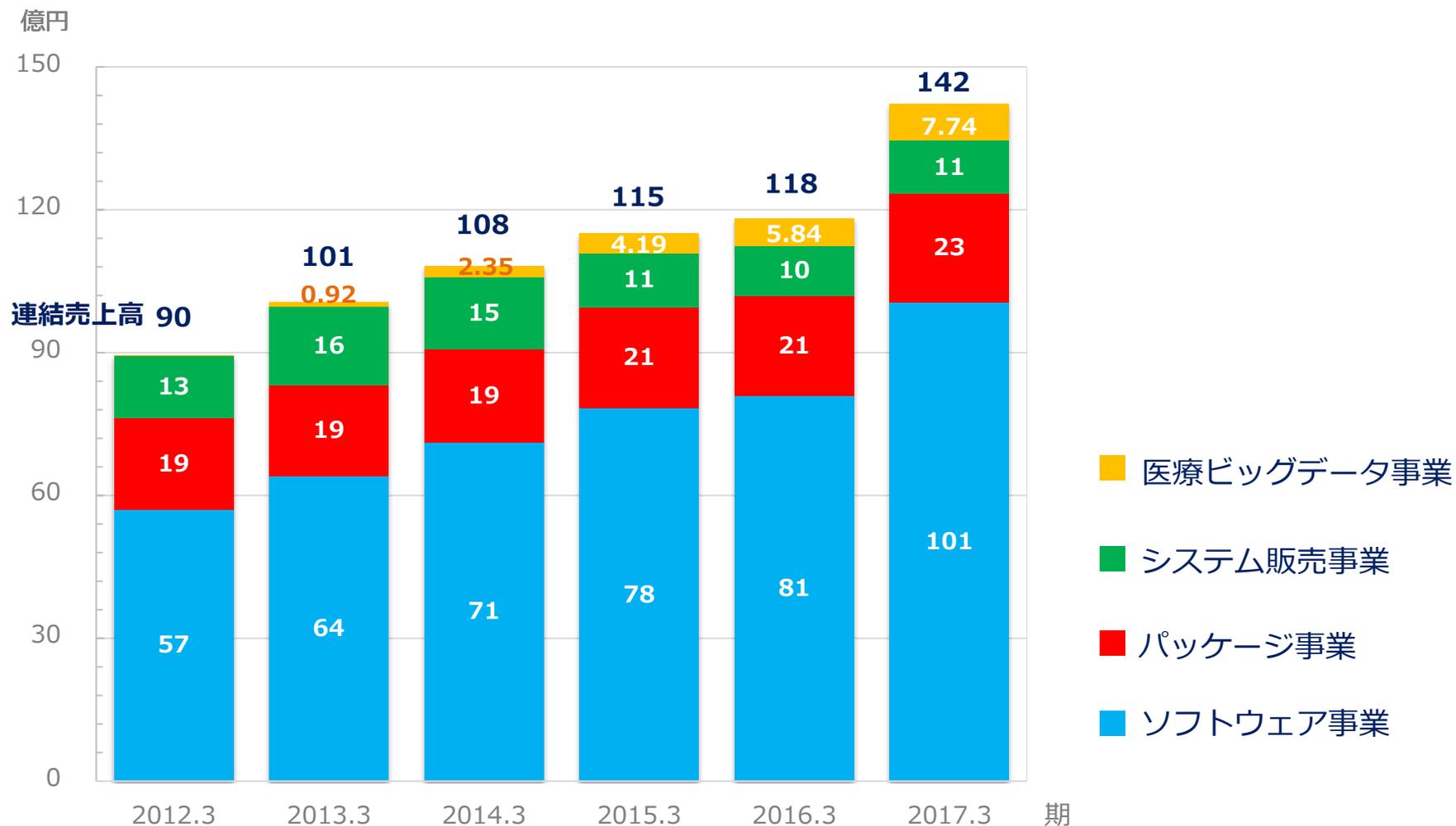
観光アプリ「京都禅寺巡り」他、スマホアプリ
ビジネス向け、スマートデバイスを活用したトータルソリューション



従業員数（期末）

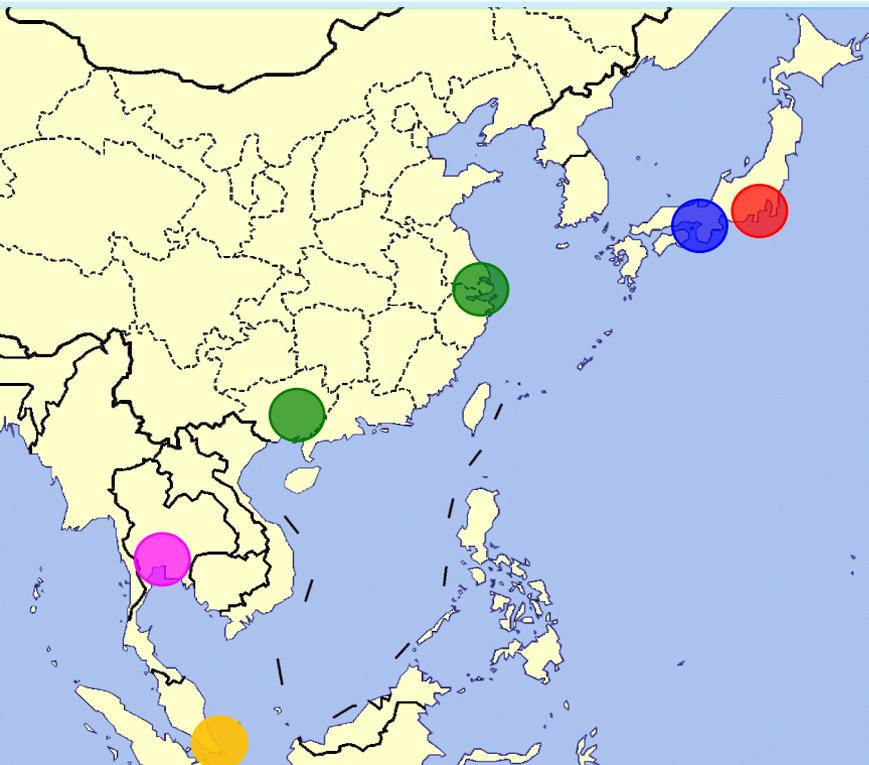


売上高



3. JASTグループの特長

3-4. グループ拠点展開



大阪本社
大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー28・29階



東京本社
東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階

アルファコンピュータ株式会社
東京都品川区 ★マルチベンダ IT インフラ設計 (システム販売)

株式会社アイエスアール
東京都品川区 ★受託開発、パッケージ開発・販売

株式会社新日本ニーズ
大阪市 ★地域密着型受託開発

SafeNeeds株式会社
大阪市 ★受託開発、中国オフショア案件のブリッジ会社

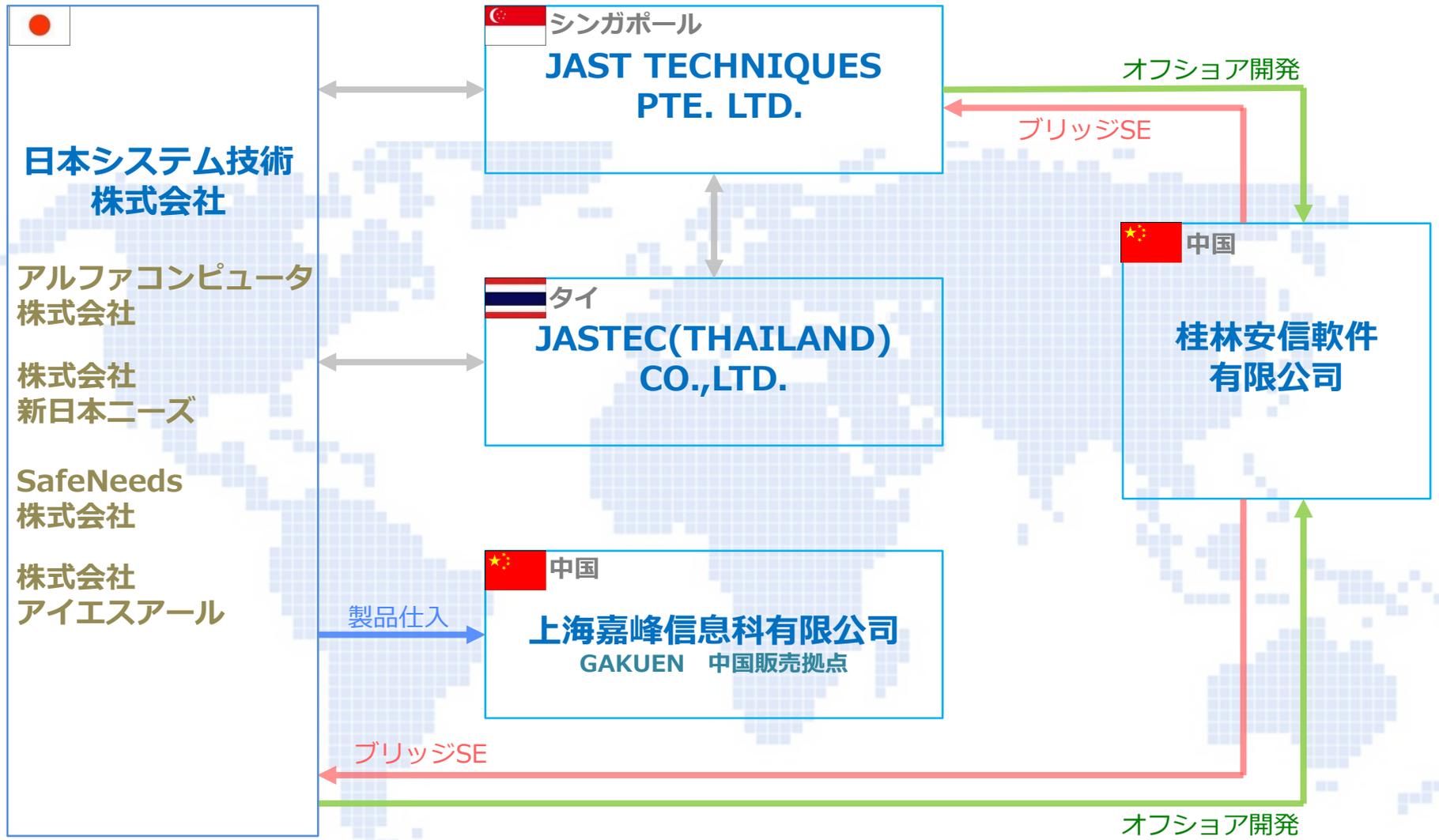
JAST TECHNIQUES PTE. LTD.
シンガポール ★現地日系企業向け開発

JASTEC(THAILAND) CO., LTD.
タイ バンコク ★現地日系企業向け開発

桂林安信軟件有限公司 ★オフショア開発拠点
中国広西チワン族自治区桂林市 ★中国国内拡販拠点

上海嘉峰信息科技有限公司 ★GAKUEN
中国上海市 中国販売拠点

グループ各社間の取引と情報交換を活性化



3. JASTグループの特長

3-6. 国内トップブランドの大学業務パッケージ「GAKUEN」

導入実績

大学：268校
 短大：87校
 他：18校
 合計：373校

広島経済大学
 比治山大学
 近畿大学工学部
 広島文教女子大学
 ノートルダム清心女子大学
 山口県立大学（公）
 岡山県立大学（公）
 環太平洋大学

近畿大学
 甲南大学
 追手門学院大学
 阪南大学
 兵庫県立大学（公）
 大手前大学
 神戸女子大学
 プール学院大学
 梅花女子大学
 神戸女学院大学
 大阪音楽大学
 京都光華女子大学
 薫英学園
 産業技術短期大学
 千里金蘭大学
 平安女学院大学

東北福祉大学
 宮城学院女子大学
 東北工業大学
 岩手県立大学（公）
 山形県立保健医療大学（公）
 東北芸術工科大学
 日本大学工学部

新潟医療福祉大学
 新潟薬科大学
 北陸大学
 福井大学(国)

北海道教育大学（国）
 公立はこだて未来大学
 酪農学園大学

東京理科大学
 成蹊大学
 慶應義塾大学
 東京電機大学
 桜美林大学
 日本大学薬学部
 文教大学
 玉川大学
 日本女子大学
 武蔵大学
 日本体育大学
 共立女子大学
 ワリイ女学院大学

聖カタリナ大学

福岡工業大学
 南九州大学
 近畿大学産業理工学部

日本文理大学
 西南女学院大学
 九州国際大学

名城大学
 愛知教育大学（国）
 四日市大学
 愛知大学

三重大学(国)
 聖隷クリスミア大学
 名古屋外国語大学
 日本大学国際関係学部

導入実績373校

導入実績：2017年12月1日現在

JMICS JAST Medical Insurance Checking Service

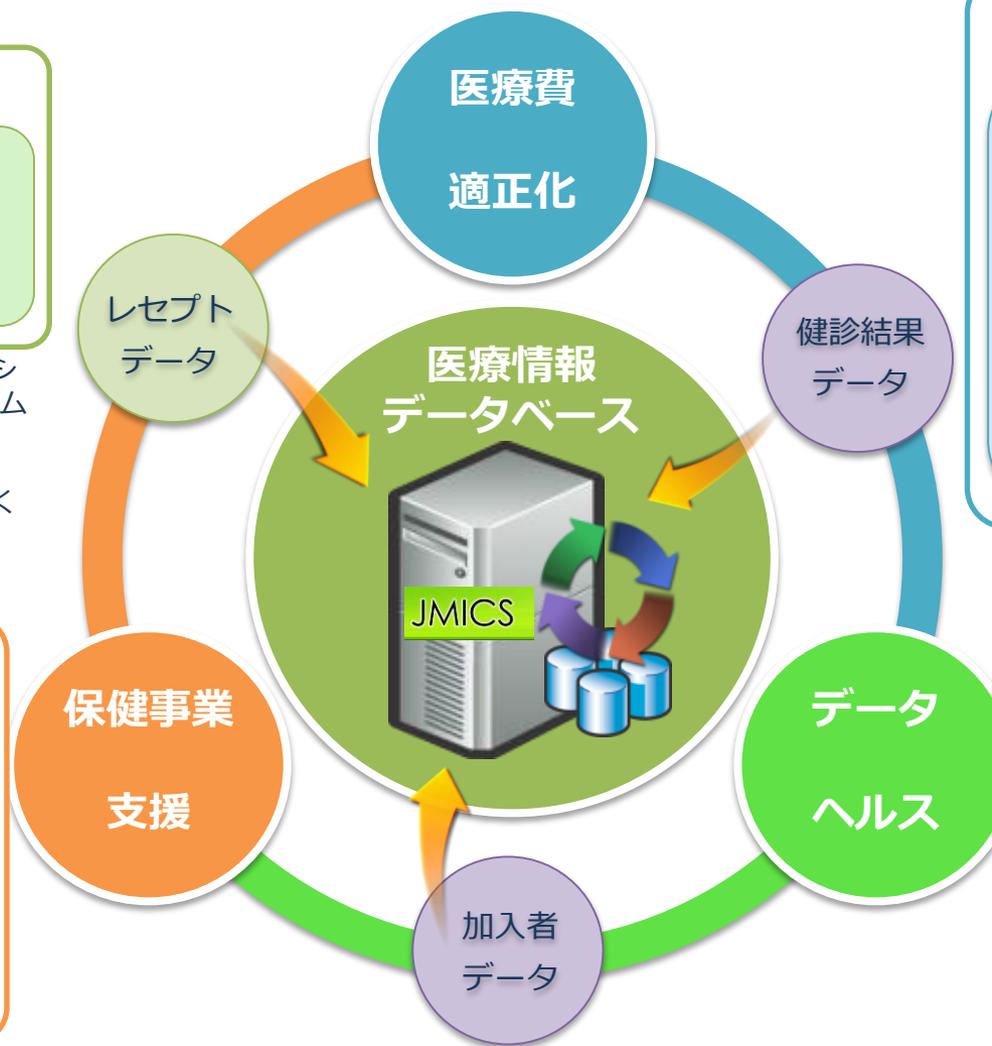
保健事業支援サービス

- ・ リスカルくん
（保険事業支援ツール）
- ・ レセプト/健診データ分析
- ・ ハイリスク者階層化分析
- ・ 保健事業の実施効果分析
- ・ 事業所別分析レポート
- ・ 健康白書
- ・ 加入者向け健康レポート
- ・ 受診勧奨通知
- ・ 保健師・管理栄養士による
各種保健指導、セミナー
健康教室の開催

保健事業支援ツールの提供、健康白書や事業所別分析レポート等の作成、医療費や健診データ分析、受診勧奨通知、保健師や管理栄養士による支援サービスなど、データヘルスにおけるPDCAサイクルを廻すための各種サービスの提供が可能です。

事務効率化サービス

- ・ 健診事務代行
- ・ WEB検認
- ・ 各種事務代行



点検サービス

- ・ レセプト内容点検
- ・ アウトソーシング
- ・ ユーザークラウド
- ・ ビジネスクラウド
- ・ 海外療養費点検
- ・ 柔整点検

レセプト点検には、アウトソーシングの他に、JASTの点検システムを保険者様にてご利用いただく「ユーザークラウド」と、点検事業者様にてご利用いただく「ビジネスクラウド」があります。

医療費適正化サービス

- ・ ジェネリック促進通知
- ・ 花粉症通知
- ・ 統合通知
- ・ 頻回、重複受診者対応
- ・ 第三者求償対象者対応
- ・ 時間外加算者対応
- ・ 医薬品重複投与者対応

保健事業
支援

加入者
データ

データ
ヘルス

医療費
適正化

レセプト
データ

医療情報
データベース

健診結果
データ

長期安定成長の実現

人物重視

- * 新卒中心の採用と長期的な人材育成
- * 人材流動の激しい業界内で高い社員定着率

品質安定
低コスト体質

特徴的な営業戦術

- * ソフトウェア事業（受託開発）：
 - ・ SE自らリピート案件発掘
 - ・ 新規顧客は専門営業がソリューション提案
- * その他事業：
 - ・ 代理店、教育機関、官公庁、健保組合等
 - 異種カスタマ層へのマーケティング展開

性格の異なる4事業の
共存共栄に成功

品質・信頼へのこだわり

- * 「一括丸投げ」は行わない、社員中心のプロジェクト編成
- * 請負った案件は満足頂くまでやり抜く、途中退場はしない

高いリピートオーダー率
大手顧客との長期取引

徹底したコスト管理

- * 間接部門を含む全活動をプロジェクト化し原価管理
- * コンパクトな本社間接部門

問題の早期発見による
不採算案件の最小化、
低コスト体質

4. 2018年3月期 第2四半期の業績分析

4-1. 連結業績の推移

4-5. 研究開発費

4-2. 事業セグメント別業績

4-6. キャッシュフローの推移

4-3. カテゴリ別業績

4-7. 株価の推移と流動施策

4-4. 貸借対照表の推移

4-8. 日経平均株価との相関

4. 2018年3月期 第2四半期の業績分析

4-1. 連結業績の推移

単位：百万円

	2016年3月			2017年3月			2018年3月			前年比		
	上期	下期		上期	下期		上期	下期	通期 予想	上期	下期	
売上高	5,558	6,263	11,821	6,226	7,997	14,223	6,984		14,625	112.2%		102.8%
売上原価	4,440	4,814	9,254	5,043	6,244	11,287	5,602			111.1%		
	79.9%	76.9%	78.3%	81.0%	78.1%	79.4%	80.2%			▲0.8%		
売上総利益	1,117	1,449	2,566	1,183	1,752	2,935	1,381			116.7%		
	20.1%	23.1%	21.7%	19.0%	21.9%	20.6%	19.8%			0.8%		
販売費及び一般管理費	1,082	1,083	2,165	1,159	1,205	2,364	1,288			111.1%		
	19.5%	17.3%	18.3%	18.6%	15.1%	16.6%	18.4%			▲0.2%		
研究開発費	159	187	346	143	189	332	196			137.1%		
営業利益	34	367	401	24	547	571	93		790	387.5%		138.4%
	0.6%	5.9%	3.4%	0.4%	6.8%	4.0%	1.3%		5.4%	0.9%		1.4%
経常利益	53	388	441	37	586	623	118		795	318.9%		127.6%
	1.0%	6.2%	3.7%	0.6%	7.3%	4.4%	1.7%		5.4%	1.1%		1.1%
当期純利益	42	249	291	8	402	410	60		470	750.0%		114.6%
	0.8%	4.0%	2.5%	0.1%	5.0%	2.9%	0.9%		3.2%	0.7%		0.3%
包括利益	-	-	191	-	-	430	-			-		

利益が下期に集中する傾向にあり、特に第4四半期（末）の業績貢献度が高い

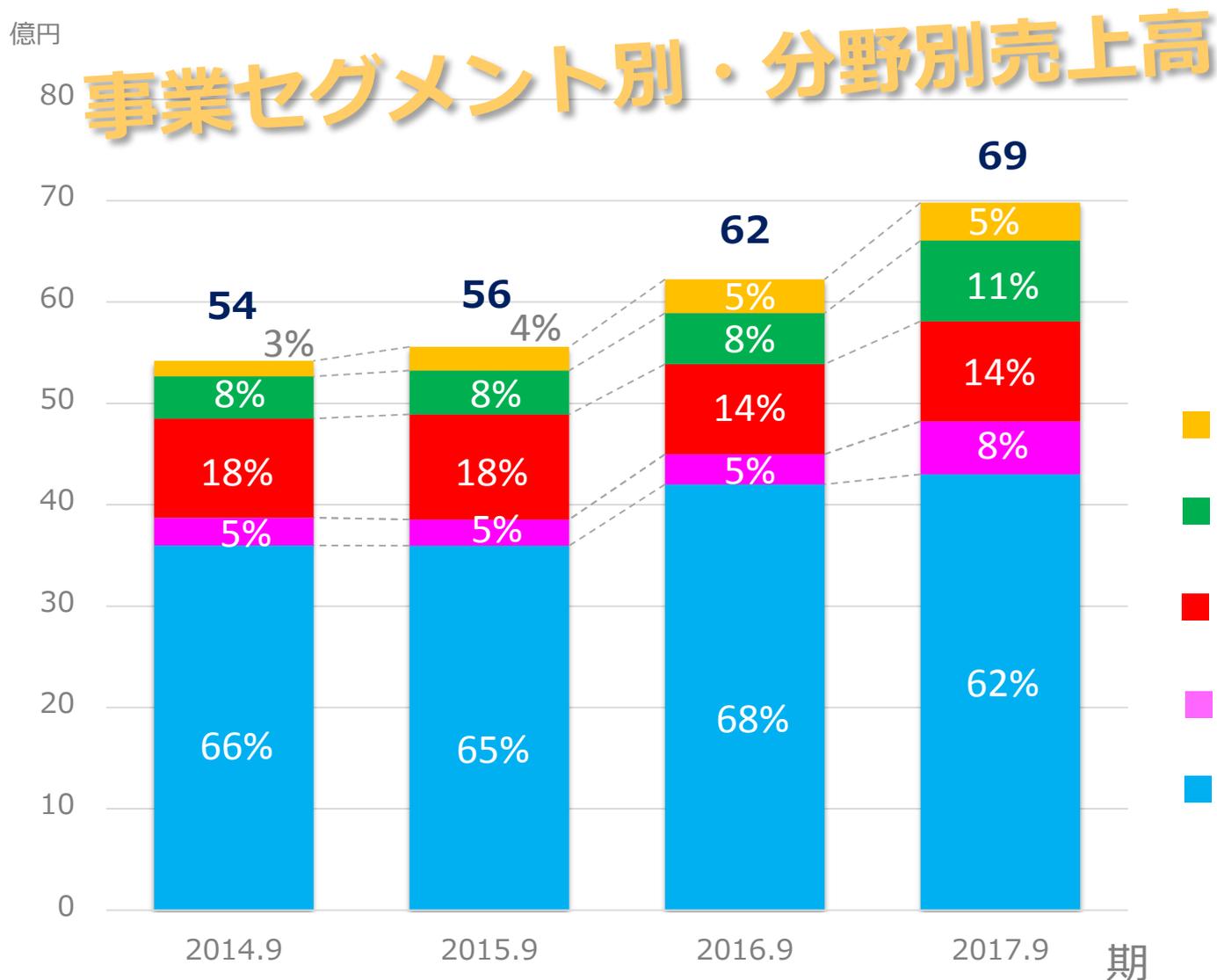
4. 2018年3月期 第2四半期の業績分析

4-2. 事業セグメント別業績

単位：百万円

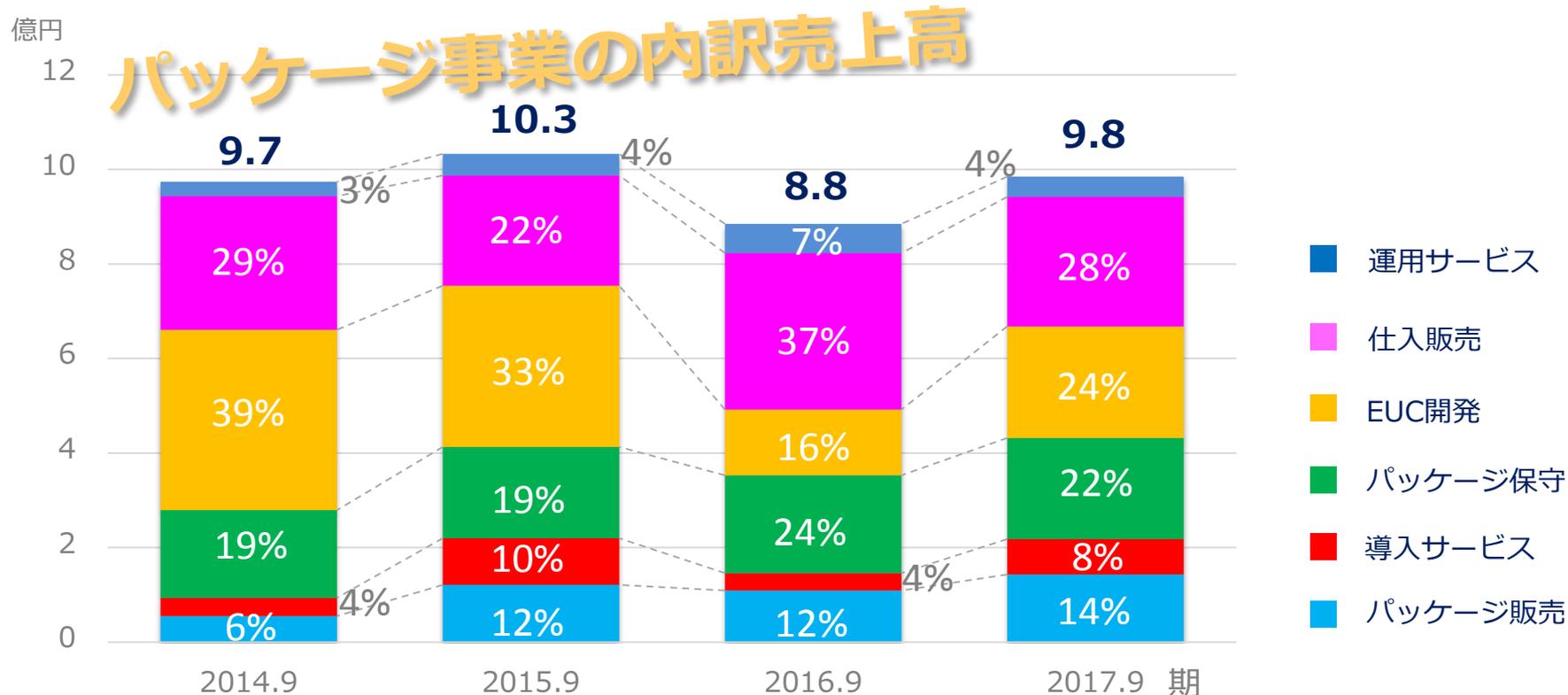
		2016年3月期 2Q累計実績	2017年3月期 2Q累計実績	2018年3月期 2Q累計実績	前年比	
		構成	構成	構成	差額	比率
JASTグループ	売上高	5,558	6,226	6,984	758	112.2%
	営業利益	34	24	93	69	387.5%
ソフトウェア事業	売上高	3,856 69.4%	4,501 72.3%	4,823 69.1%	322	107.2%
	営業利益	▲20	122	73	▲49	59.8%
パッケージ事業	売上高	1,036 18.6%	887 14.2%	988 14.1%	101	111.4%
	営業利益	122	▲45	62	107	—
システム販売事業	売上高	433 7.8%	504 8.1%	795 11.4%	291	157.7%
	営業利益	▲23	▲8	▲9	▲1	—
医療ビッグデータ事業	売上高	232 4.2%	333 5.3%	376 5.4%	43	112.9%
	営業利益	▲42	▲43	▲36	7	—

- ◆ソフトウェア事業 : 製造業/通信業/教育機関/サービス・流通業 向け案件の業績好調を受けて増収、一方、外注加工費等のコスト増により減益
- ◆パッケージ事業 : EUC/導入支援/大学向けPP（プログラムプロダクト）販売の業績好調により増収増益
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件の拡大により増収
- ◆医療ビッグデータ事業 : 自治体向けレセプト管理クラウドサービスの導入増より増収



- 医療ビッグデータ事業
- システム販売事業
- パッケージ事業
- エンジニアリング分野
- ビジネス分野

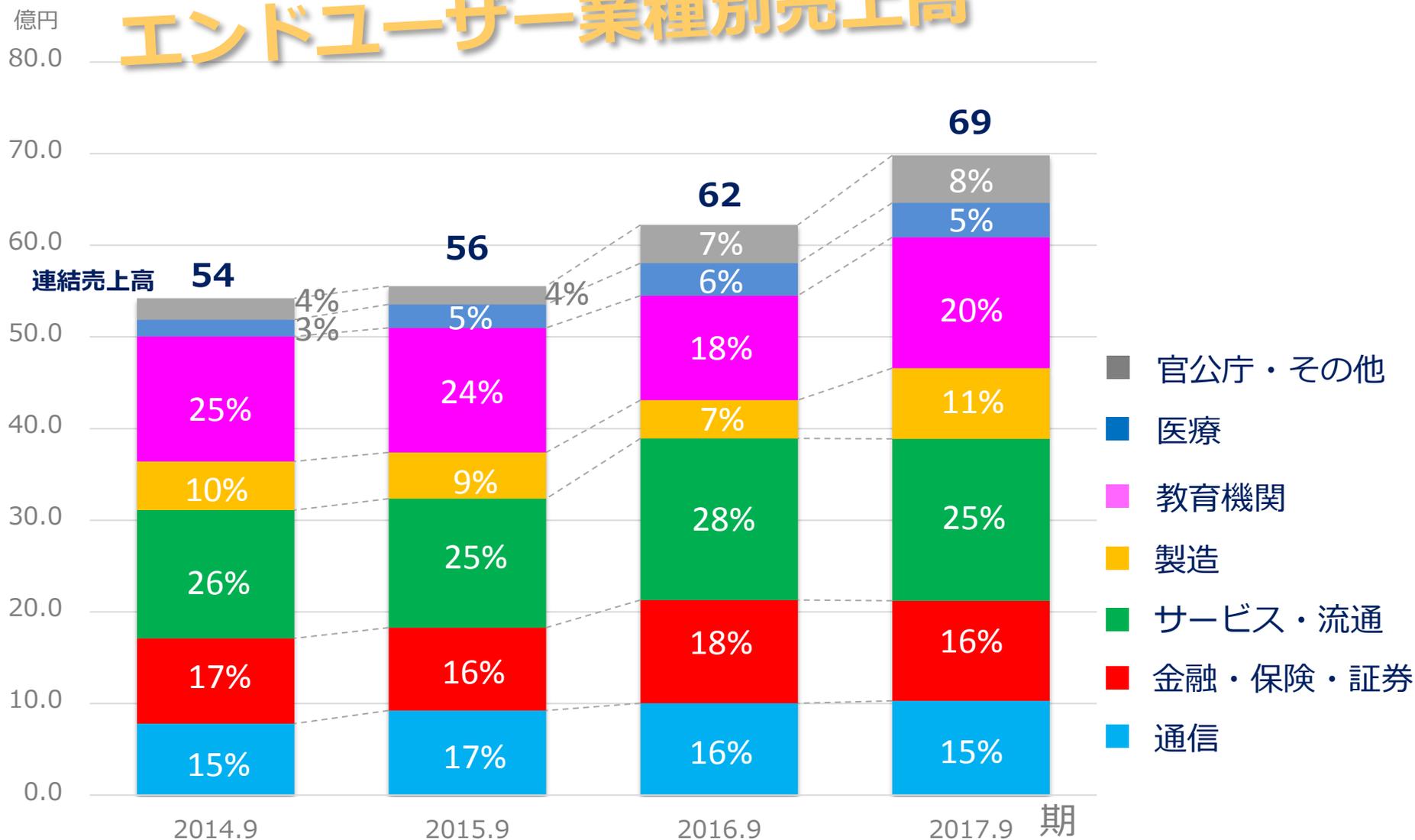
* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

パッケージ販売	学校経営統合パッケージの販売収益
導入サービス	パッケージの導入支援サービス収益
パッケージ保守	パッケージの保守契約収益
EUC開発	パッケージ販売に伴う関連システムの個別受託開発の収益
仕入販売	ハードウェア及び他社開発ソフトウェアの仕入販売収益
運用サービス	システムの運用支援に関する収益

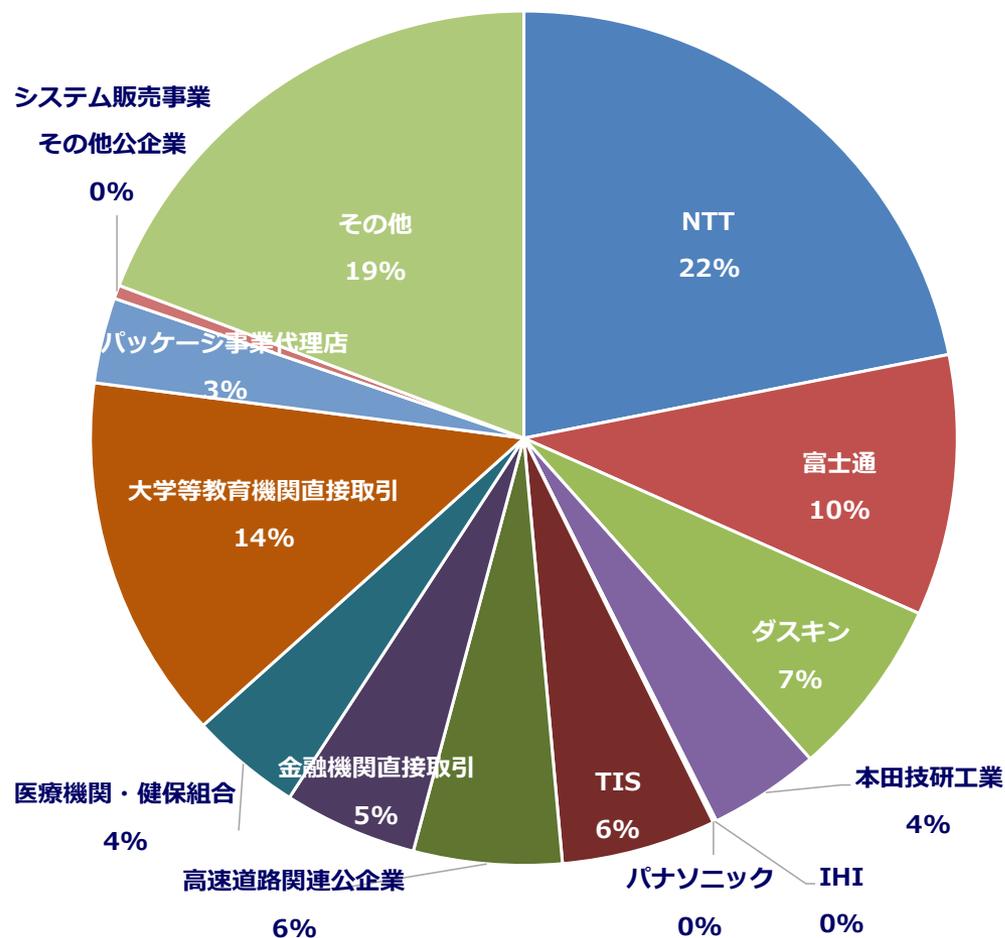
エンドユーザー業種別売上高



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

顧客グループ別売上高

顧客	2016.9	2017.9
NTT	20.7%	21.9%
富士通	10.7%	9.9%
ダスキン	4.9%	6.8%
本田技研工業	3.2%	4.2%
IHI	0.1%	0.1%
パナソニック	0.1%	0.1%
TIS	7.0%	5.8%
高速道路関連公企業	4.4%	5.5%
金融機関直接取引	5.3%	5.0%
医療機関・健保組合	4.8%	4.2%
大学等教育機関直接取引	12.1%	13.8%
パッケージ事業代理店	3.8%	3.2%
システム販売事業その他公企業	1.4%	0.5%
その他	21.6%	19.2%



4. 2018年3月期 第2四半期の業績分析

4-4. 貸借対照表の推移

単位：百万円

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2017年 9月期	前期末比	
					差額	比率
資産	8,717	9,019	10,281	10,306	25	100.2%
流動資産	6,200	6,597	7,750	7,824	74	101.0%
有形固定資産	582	524	599	556	▲43	92.8%
無形固定資産	174	137	158	130	▲28	82.3%
投資その他の資産	1,760	1,760	1,773	1,795	22	101.2%
負債純資産合計	8,717	9,019	10,281	10,306	25	100.2%
負債	3,284	3,571	4,540	4,610	70	101.5%
流動負債	2,026	2,265	3,078	3,150	72	102.3%
固定負債	1,258	1,306	1,461	4,610	3,149	315.5%
純資産	5,433	5,448	5,741	5,696	▲45	99.2%
株主資本	5,148	5,269	5,544	5,474	▲70	98.7%
資本金	1,076	1,076	1,076	1,076	0	100.0%
資本剰余金	1,038	998	994	994	0	100.0%
利益剰余金	3,299	3,460	3,740	3,669	▲71	98.1%
自己株式	▲266	▲266	▲266	▲266	0	100.0%
その他の包括利益累計額	204	127	147	176	29	119.7%
新株予約権	—	—	—	—	—	—
非支配株主持分	79	51	48	45	▲3	93.8%

単位：百万円

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	前年比	
					差額	比率
研究開発費の合計	156	269	346	332	-14	96%
ソフトウェア事業	56	62	54	0	▲54	—
パッケージ事業	99	206	239	286	47	120%
医療ビッグデータ事業	1	0	52	45	-7	87%
その他	0	0	0	0	0	—

次世代製品の開発
及び
GAKUEN
中国版の開発

点検性能向上
及び
サービス拡大

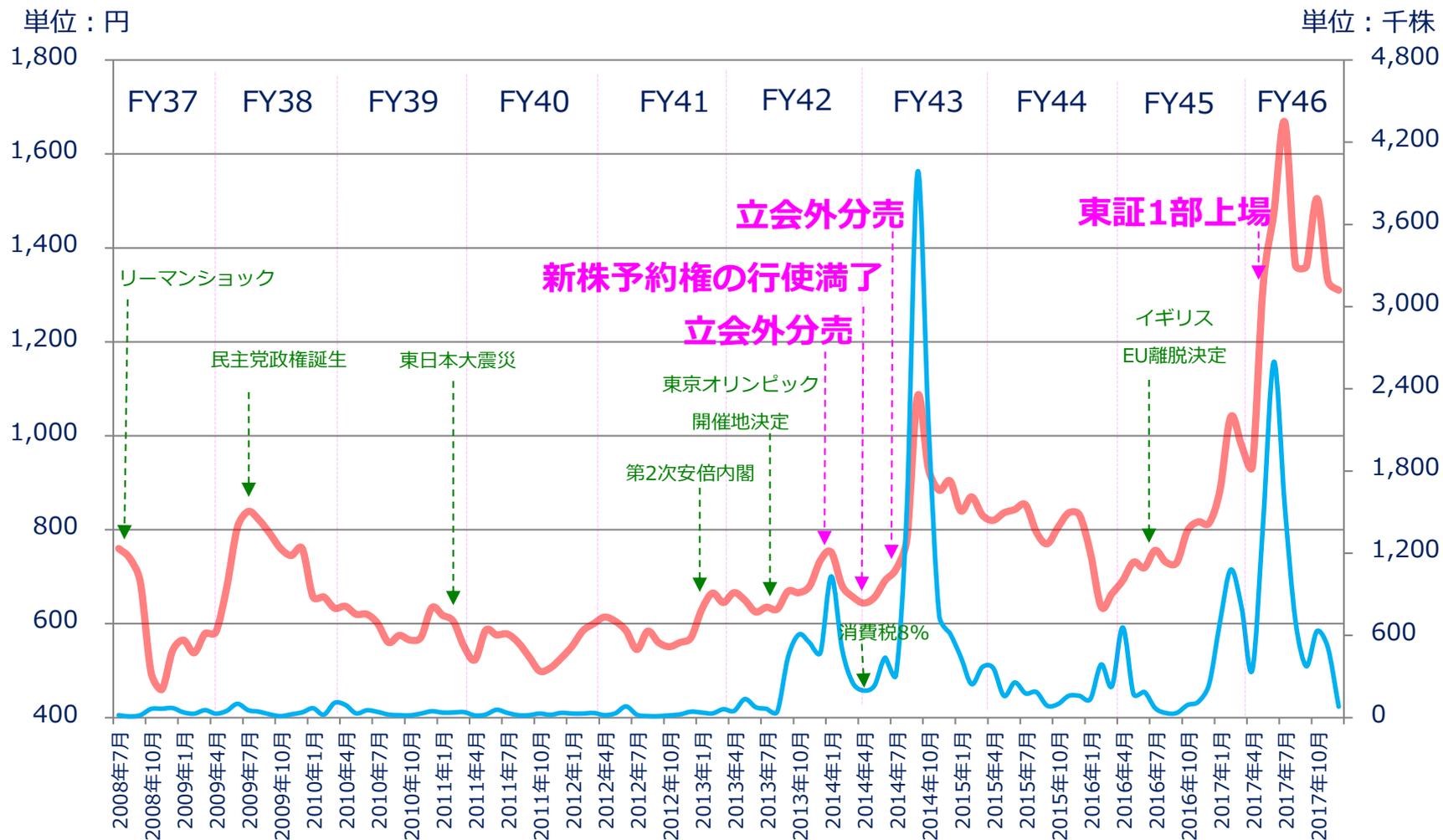
2018年3月期2Q累計 研究開発費（実績） 196百万円

単位：百万円

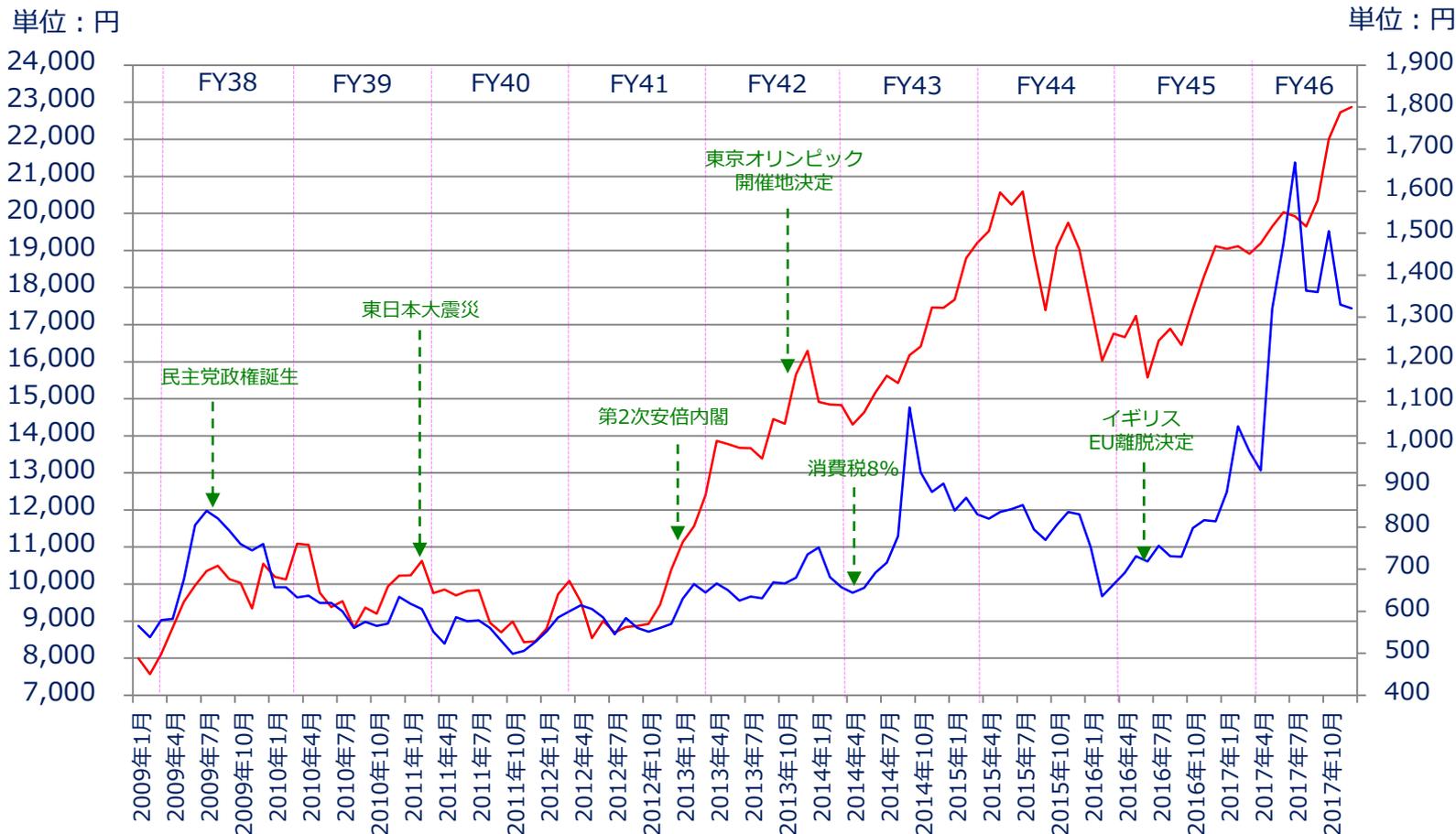
	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2017年 9月期	2017年 3月期比 増減
営業キャッシュ・フロー	181	393	▲204	▲12	132	901	+769
投資キャッシュ・フロー	▲449	▲13	▲281	119	494	6	▲488
財務キャッシュ・フロー	▲145	149	▲102	▲216	▲122	▲169	▲47
現金及び現金同等物の期末残高	1,609	2,144	1,559	1,447	1,951	2,689	+738

— JAST株価(左目盛)

— JAST出来高(右目盛)



— 日経平均株価(左目盛) — JAST株価(右目盛)



株価 1,321円

EPS 89.56

PBR 1.23倍

PER 14.75倍

2017年12月12日終値

※2018年3月期通期予想値

5. 今後の計画・方針

5-1. 2018年3月期スローガン

5-9. JMICS

5-2. 業績の予想

5-10. BankNeo

5-3. 業績達成のフィジビリティ分析

5-11. M&A、グローバル化

5-4. 受注残高と売上高の推移

5-12. 事業構成とアライアンス

5-5. 研究開発投資計画

5-13. 新領域開拓

5-6. 資本関連方針

5-14. その他の経営管理関連事項

5-7. 事業ポートフォリオの中長期構想

5-8. GAKUEN

SPEED UP !

(早く始める、早く進める、早く終わらせる)

Japan System Techniques Co., Ltd.

		2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	前年比
売上高	(百万円)	11,821	14,223	14,625	102.8%
営業利益	(百万円)	401 3.4%	571 4.0%	790 5.4%	138.4%
経常利益	(百万円)	441 3.7%	623 4.4%	795 5.4%	127.6%
当期純利益	(百万円)	291 2.5%	410 2.9%	470 3.2%	114.6%
一株当たり当期純利益	(円)	55.62	78.26	89.56	114.4%

* 全額の右の%数値は各々の利益率を表します。

5. 今後の計画・方針

5-3. 業績達成のフィジビリティ分析

単位：百万円

	2016年3月期 下期実績		2017年3月期 下期実績		2018年3月期 (通期予想-2Q累計)		前年比	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	6,262		7,996		7,640		-356	▲4%
営業利益	366	5.8%	546	6.8%	696	9.1%	+150	+27%
経常利益	387	6.2%	586	7.3%	676	8.8%	+90	+15%
当期純利益	249	4.0%	402	5.0%	409	5.4%	+7	+2%

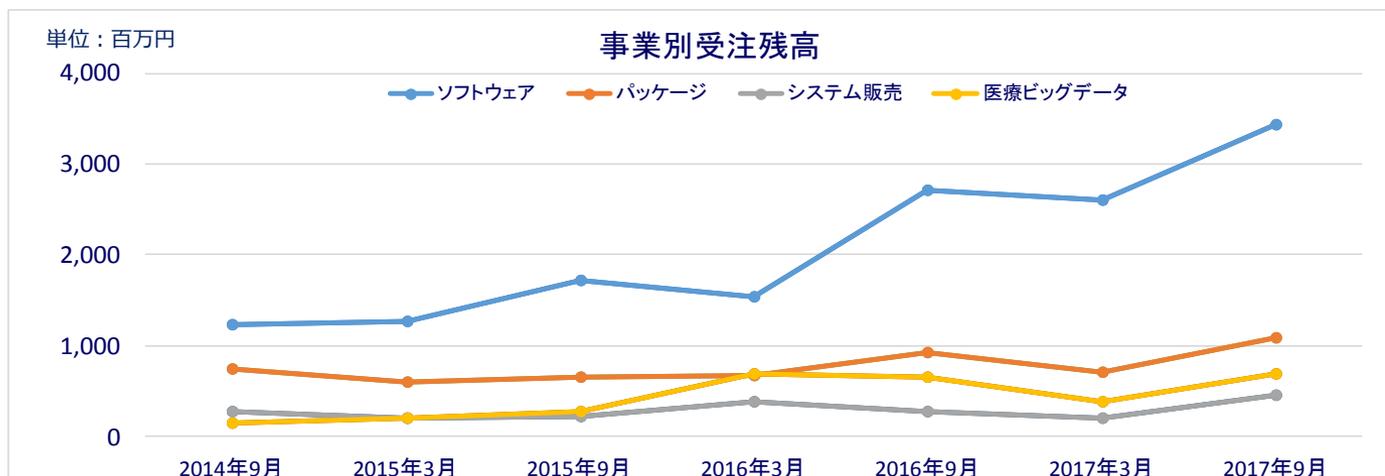
%数値は対売上高比率



項目	金額〔億円〕
〔A〕 ソフトウェア事業の拡大と収益性向上	約 +3.6
〔B〕 システム販売事業の増益	約 +0.1
〔C〕 新規事業推進に伴う組織設置	約 ▲0.1
〔D〕 その他販管費等増（一般管理費増、社内システム整備等）	約 ▲2.1

5. 今後の計画・方針

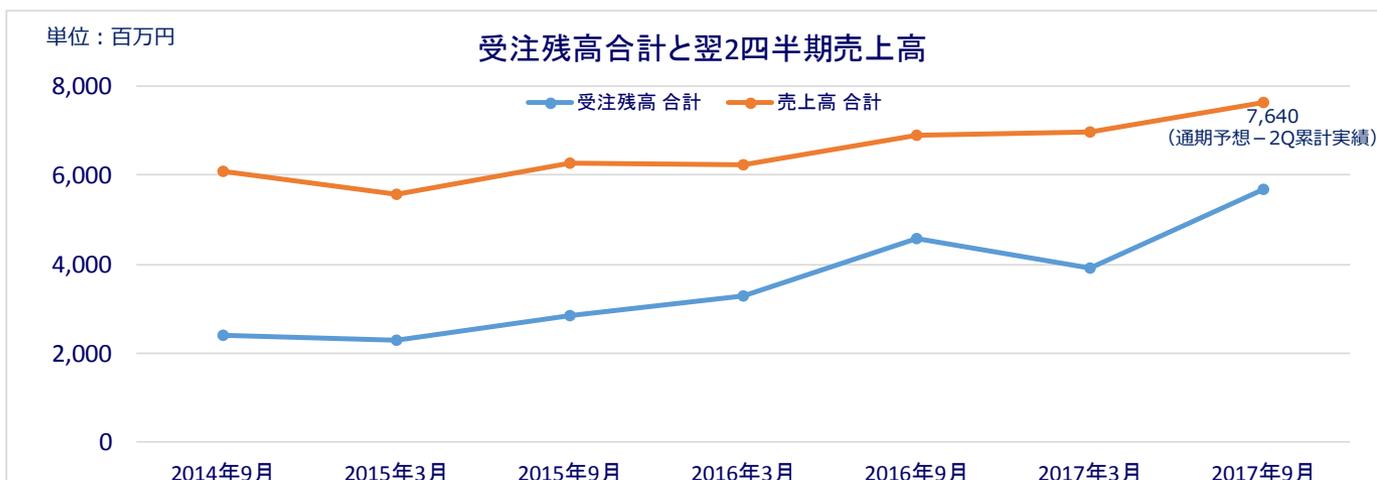
5-4. 受注残高と売上高の推移



事業別受注残高

事業/期	2014年9月	2015年3月	2015年9月	2016年3月	2016年9月	2017年3月	2017年9月
ソフトウェア	1,227	1,267	1,711	1,545	2,709	2,599	3,437
パッケージ	742	604	656	674	917	705	1,095
システム販売	273	209	214	376	275	208	458
医療ビッグデータ	157	209	274	684	661	386	688
受注残高 合計	2,401	2,291	2,856	3,280	4,563	3,899	5,680

単位：百万円



研究開発投資の積極拡大を増収効果と収益性拡大で克服し増益実現

単位：百万円

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
研究開発費の合計	156	269	346	332	
ソフトウェア事業	56	62	54	0	
パッケージ事業	99	206	239	286	
医療ビッグデータ事業	1	0	52	45	
その他	0	0	0	0	

BankNeo
次世代製品、
機能強化

GAKUEN
新製品・サービス、
中国展開拡大

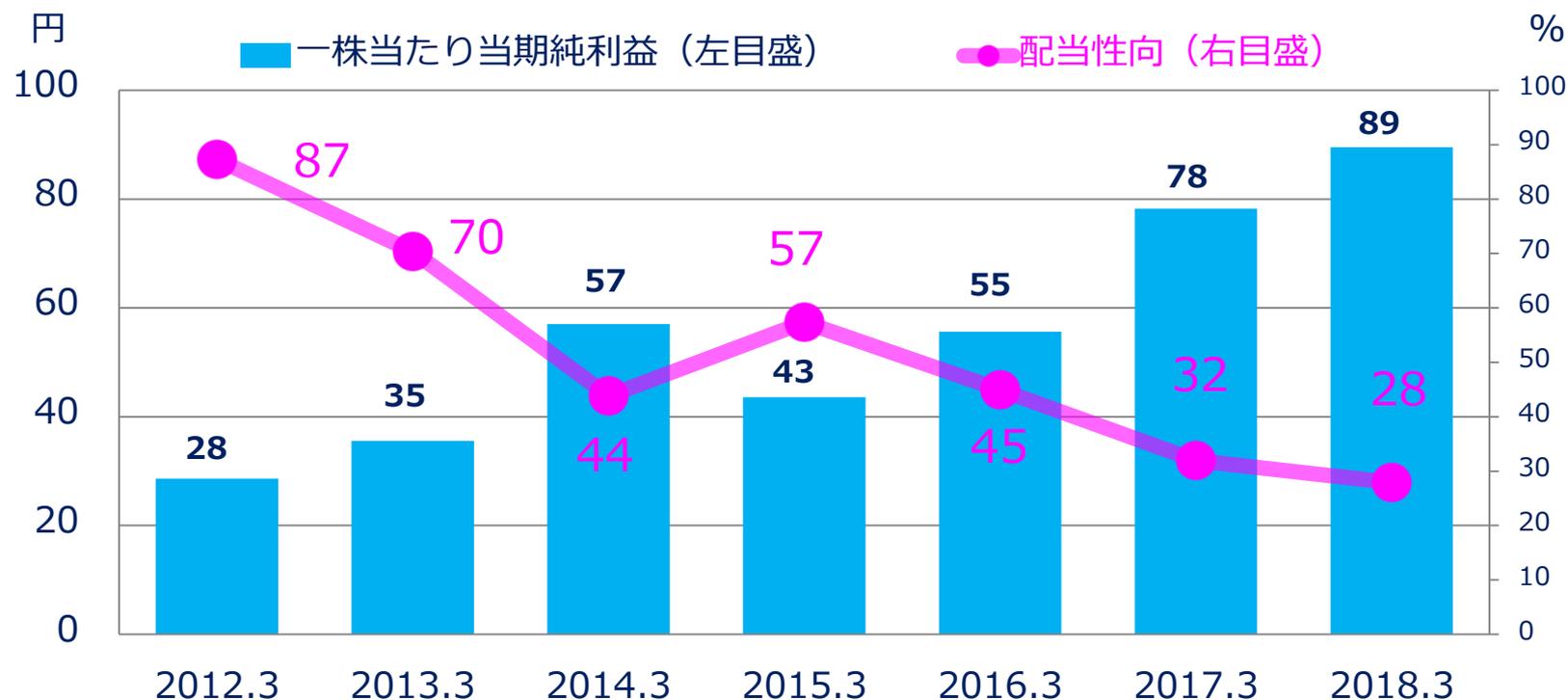
JMICS
性能強化・向上、
サービス拡大

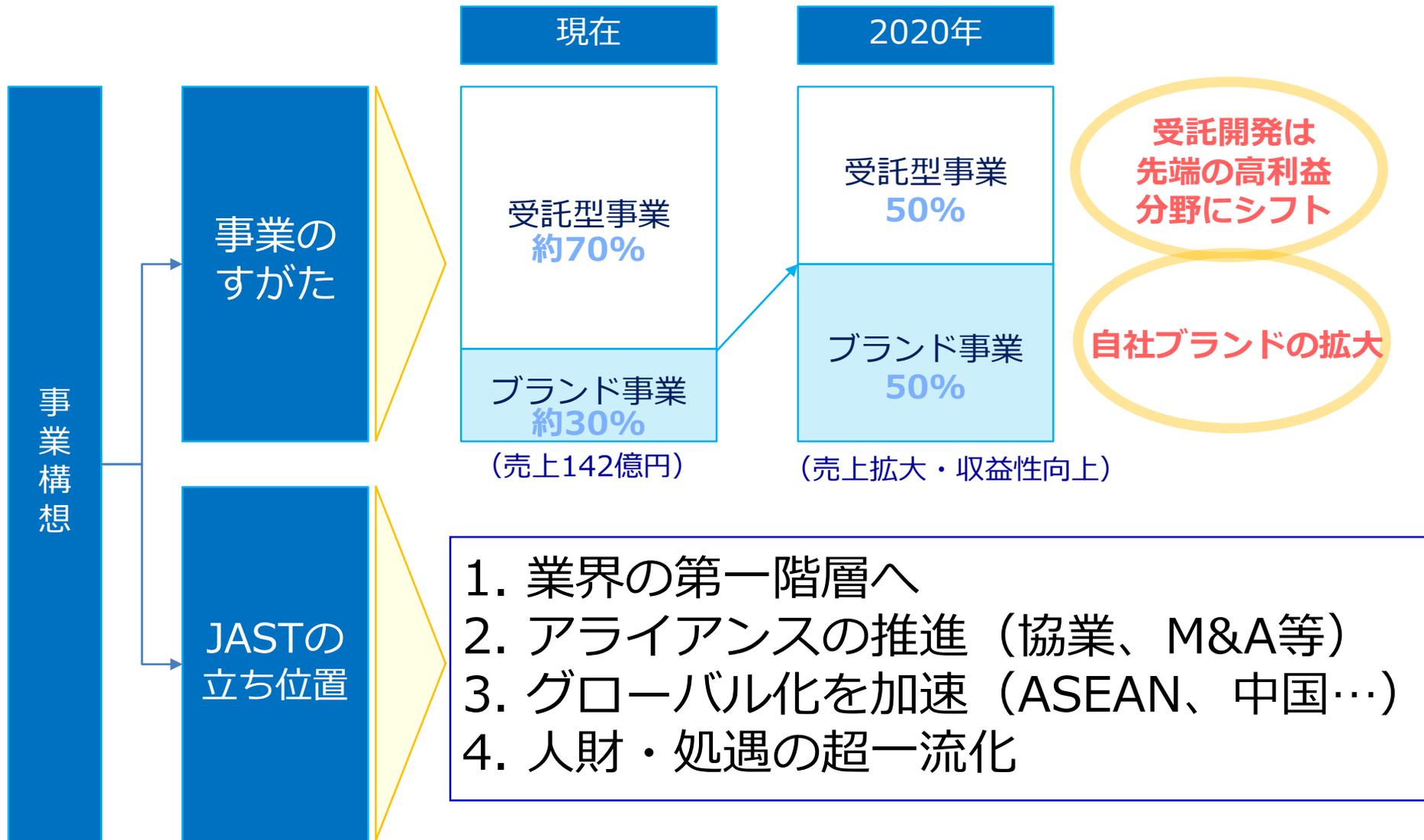
矢印の角度は増加率イメージ

5. 今後の計画・方針

5-6. 資本関連方針

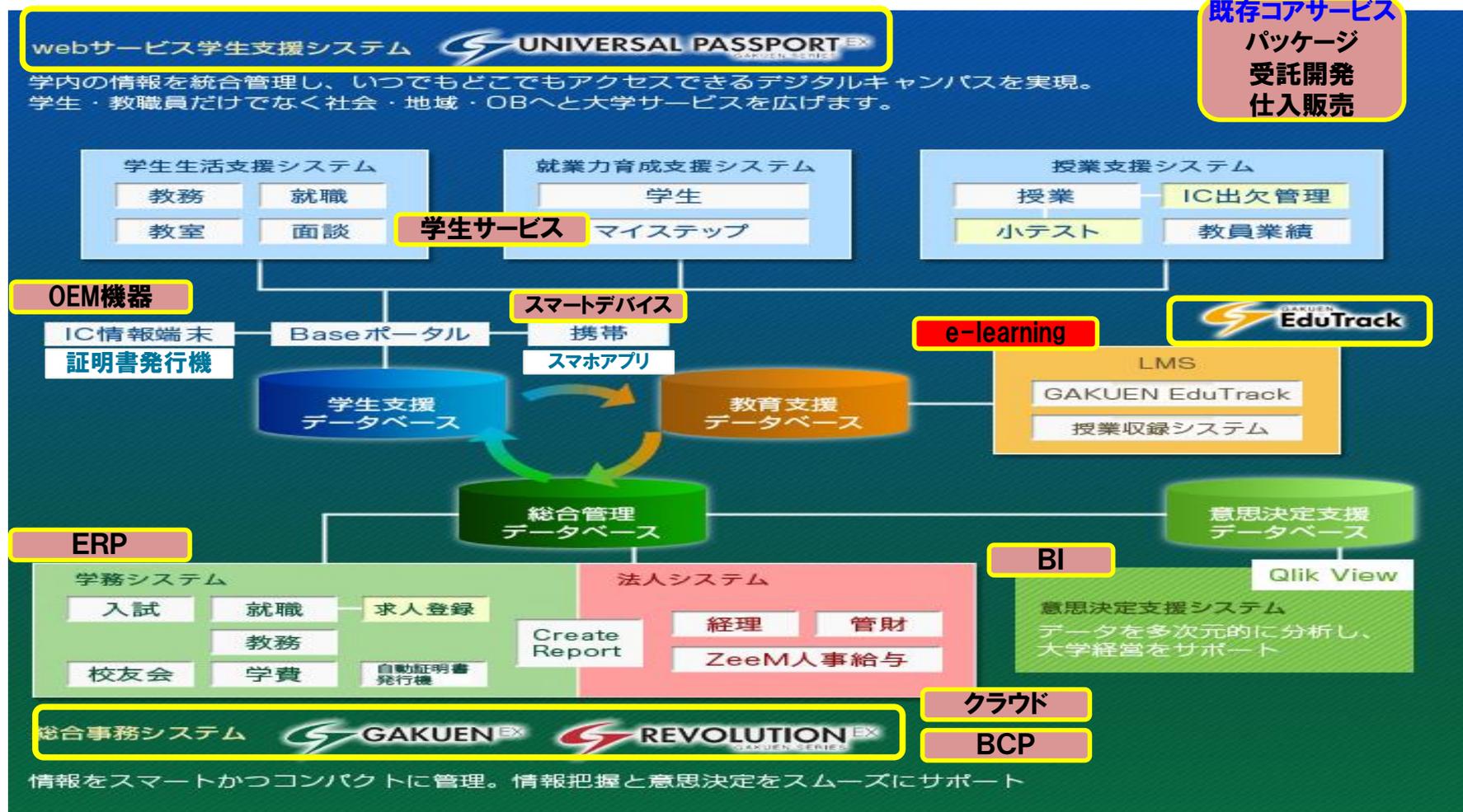
		2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期 (予定)
1株配当金	円	25	25	25	25
期末配当利回り	%	3.0	3.8	2.6	—
期末株主数	人	3,016	2,805	2,667	—
期末時価総額	百万円	4,664	3,727	5,500	—





5. 今後の計画・方針 5-8. GAKUEN (パッケージ事業)

★現行サービス図



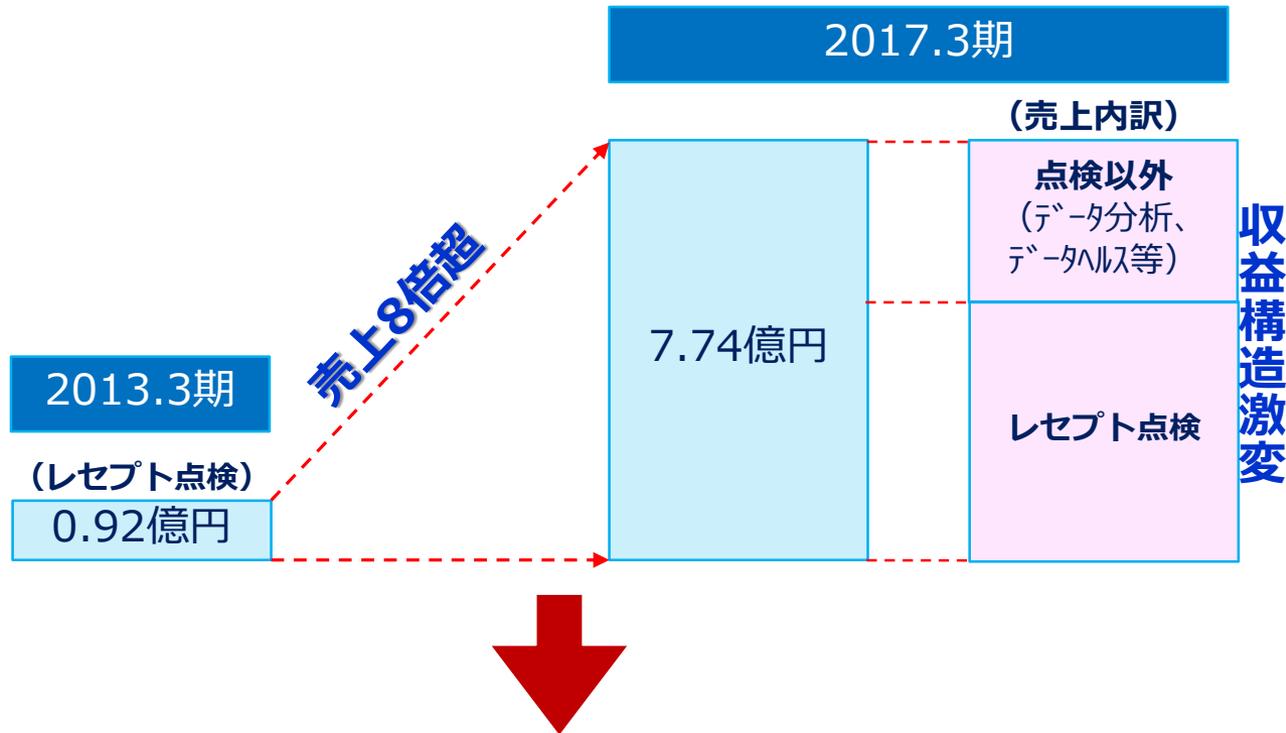
★成長戦略 (現行ビジネスの脇は固めた上で)

- ★グローバル展開: 中国版収益化、ASEANへ商材拡大
- ★次世代フラッグシップ製品のリリース
- ★IR、フィンテック関連サービス・商材の展開

→ 常に数歩前を行く戦術展開で 文教ITの圧倒的リーダーとなる

★現状：

- ◆月間レセプト処理数約1,000万枚/総契約先数100超
- ◆レセプト点検→ビッグデータとICTの融合による医療情報ソリューションに進化



★戦略：国策の追い風とボリューム/技術優位性を活かし大きく成長する

- ◆関連サービスの拡大加速：医療費適正化、データヘルス、データ利活用、パッケージ化
- ◆アライアンスの拡大：アカデミア・関連業界との協業
- ◆AI、ディープラーニング関連テクノロジーの組み込み

BankNeo JUST SOLUTION FOR BANKING

**CRM
SFA**

**融資
支援**

**経営
管理**

相続

**預り
管理**

ポータル モバイル連携機能
地図連携機能 顧客サイト
フロントコンプライアンス

貸出審査 保全管理
格付審査 自己査定
債権管理 回覧ワークフロー

経営分析 手数料・事務量
原価計算 日計
個社別取引採算管理

手続き支援 案件進捗管理
相続税シミュレーション
顧客情報の一元管理

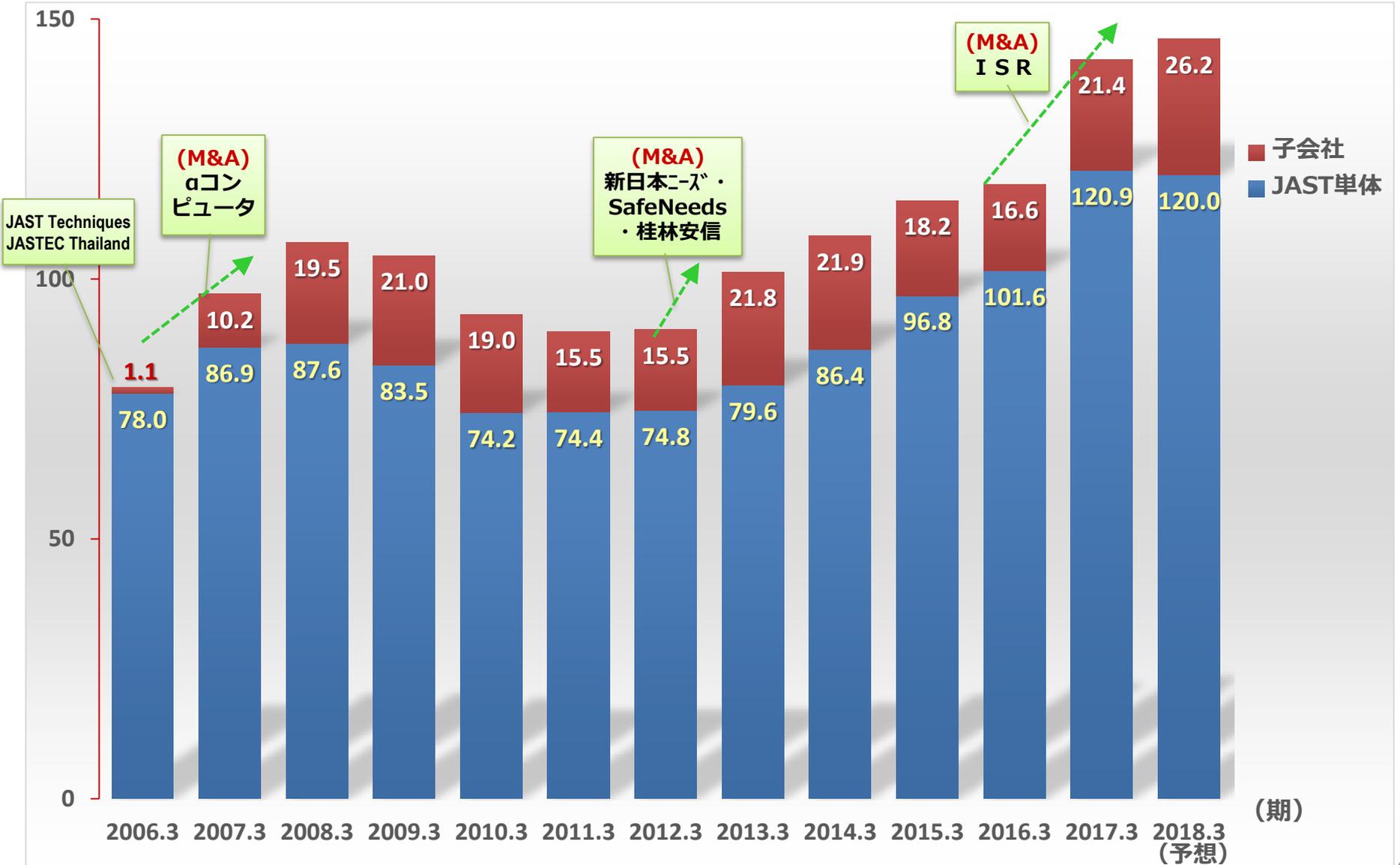
預り/返却業務
預り物のチェック
期日管理



5. 今後の計画・方針

5-11. M&A、グローバル化①（売上推移）

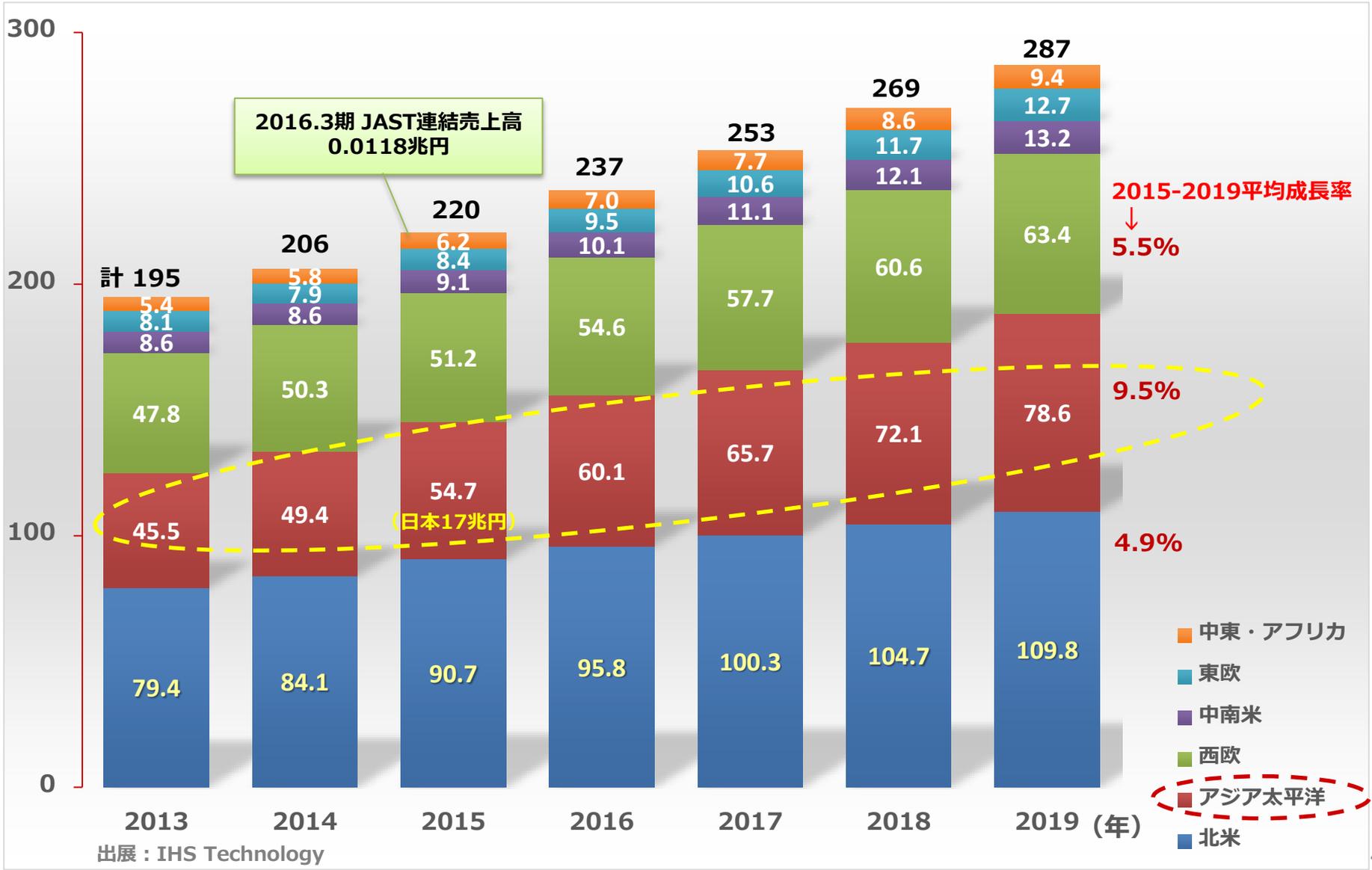
(億円)



5. 今後の計画・方針

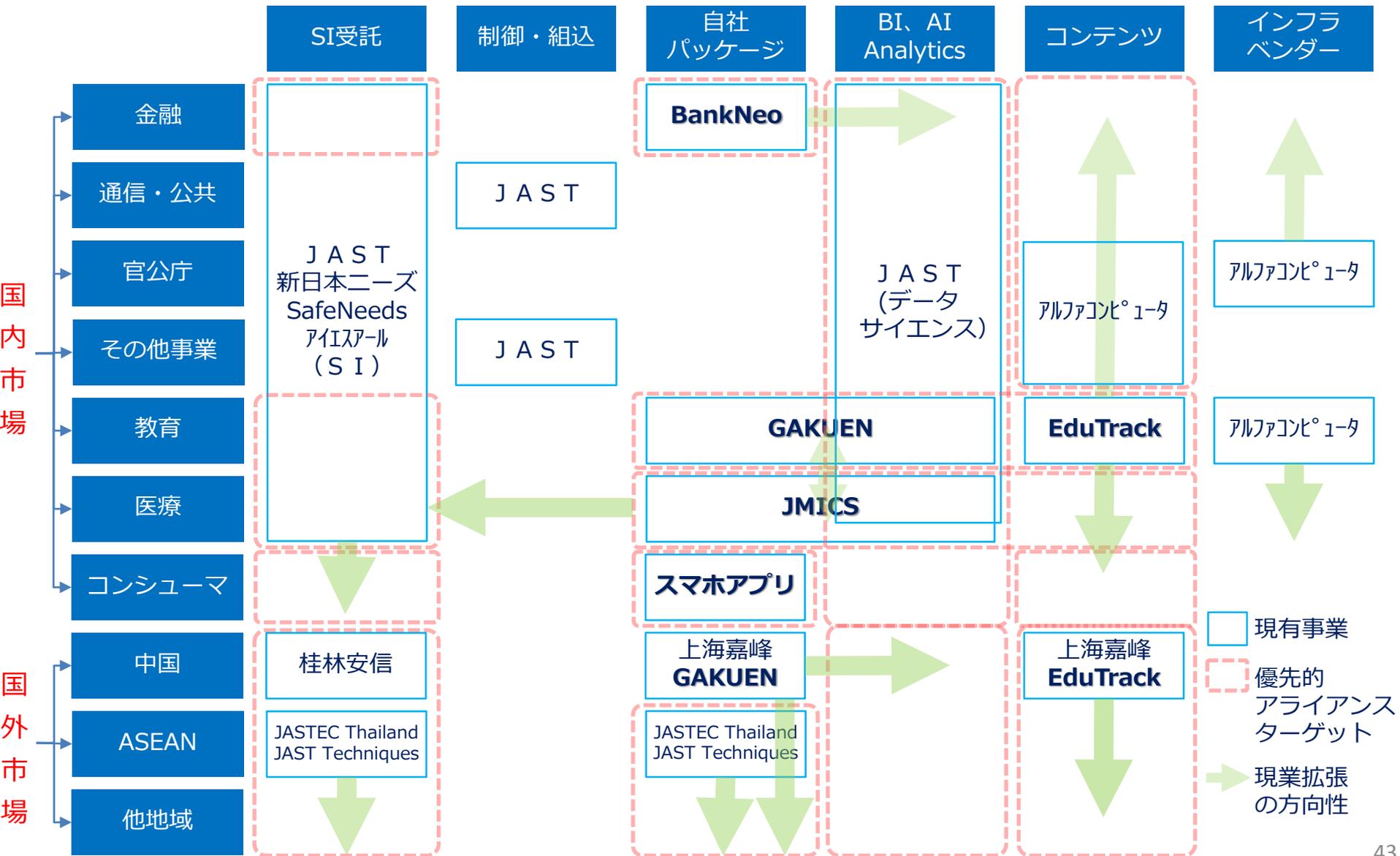
5-11. M&A、グローバル化② (世界のICT市場規模)

(兆円) 1US\$=¥110換算



5. 今後の計画・方針

5-12. 事業構成とアライアンス



5. 今後の計画・方針

5-13. 新領域開拓

	ビッグデータ	IoT、コンテンツ	フィンテック	AI、ディープラーニング	グローバル
ソフトウェア事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データサイエンス案件の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ モバイルデバイス対応増加 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 金融系SI案件での拡大 	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンス案件へのAI機能実装 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在外4社の現地案件拡大 ✓ オフショア拡大
GAKUEN (パッケージ事業)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大学経営意思決定支援 (BI) ✓ IR 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ e-ラーニングシステム「EduTrack」 ✓ スマホアプリ 	<ul style="list-style-type: none"> 学内電子マネー 	<ul style="list-style-type: none"> BI、IRのAI化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国市場拡大 ASEAN展開
JMICS (医療ビッグデータ事業)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 月間レポート処理数1000万枚 ✓ アライアンスの多彩化 	<ul style="list-style-type: none"> 個人向けサービス 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ アカデミアとの連携 レポート処理のAI化 	<ul style="list-style-type: none"> ASEAN地域のデータ利活用
BankNeo (ソフトウェア事業)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「BankNeo for CRM/SFA」 拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CRM活用 		<ul style="list-style-type: none"> 一部コンポーネントへのAI機能の実装 	
システム販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各種分析サービス拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ AHA製デジタルサイネージサービス 			

凡例： ✓ 現業領域と施策 進出構想領域 JASTブランド

CGC各原則への対応状況（主なもの）

- ★社外役員：社外取締役2名／取締役総数7名、社外監査役2名／監査役総数3名。
人材の「持合い」や「形式的充足」はしない。
- ★関連当事者取引等：原則行わない。
発生した場合も通常外部取引と全く同様の審査承認プロセスを辿る。
- ★政策保有株式：基本理念である完全独立系の堅持、が根本前提。

会計統制

- ★連結・単体とも決算機能は大阪本社で集中管理。収益責任部門からの独立性を保持。
- ★内部監査、監査法人監査、J-soxで統制を補完・強化。
- ★有資格者の育成による業務精度向上。

過重労働抑止対策の状況

- ★今期4～11月累計月間平均残業約17時間。
- ★36協定超過ゼロ継続及び私事在館ゼロ化への対策を強化。
- ★有給休暇取得率向上への取り組み（取得奨励日、メモリアル休暇）。

不易流行

本質的なものを守る一方で、新しい変化を取り入れ、より多くの価値を創造していくこと

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。尚、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。